

# 高病原性鳥インフルエンザ 対応防疫対策本部会議

平成23年1月28日(金)16:00～

鳥取県高病原性鳥インフルエンザ対応防疫対策本部

## 次 第

1. あいさつ
2. 経緯
3. 今後の対応

## 経緯(ユリカモメ)

- 1月19日(水) 15:00 米子市赤井手において、県民がユリカモメの衰弱鳥一羽を発見。  
ユリカモメ:感染リスクの高い種に該当  
16:00 西部総合事務所生活環境局が通報を受けて収容し、様子を観察。
- 1月20日(木) 9:00 死亡を確認。  
生活環境局において、簡易検査を実施したところ陰性であった。  
国立環境研究所に試料(スワブ)送付
- 1月27日(木) 国立環境研究所での遺伝子検査の結果、インフルエンザウイルスA型について陽性と判明  
確定検査を行うため、検体を鳥取大学に移送
- 鳥取大学に検体到着後、3~7日間で診断結果がでる見込み

## 経緯(キンクロハジロ)

- 1月24日(月) 11:00 米子市夜見町において、県民がキンクロハジロの衰弱鳥一羽を発見。  
キンクロハジロ:感染リスクの高い種に該当  
11:15 西部総合事務所生活環境局が通報を受けて収容し、様子を観察。  
15:00 死亡を確認。  
生活環境局において、簡易検査を実施したところ陰性であった。  
国立環境研究所に試料(スワブ)送付
- 1月28日(金) 国立環境研究所での遺伝子検査の結果、インフルエンザウイルスA型について陽性と判明  
確定検査を行うため、検体を鳥取大学に移送
- 鳥取大学に検体到着後、3~7日間で診断結果がでる見込み

## 発生地から10kmの警戒区域

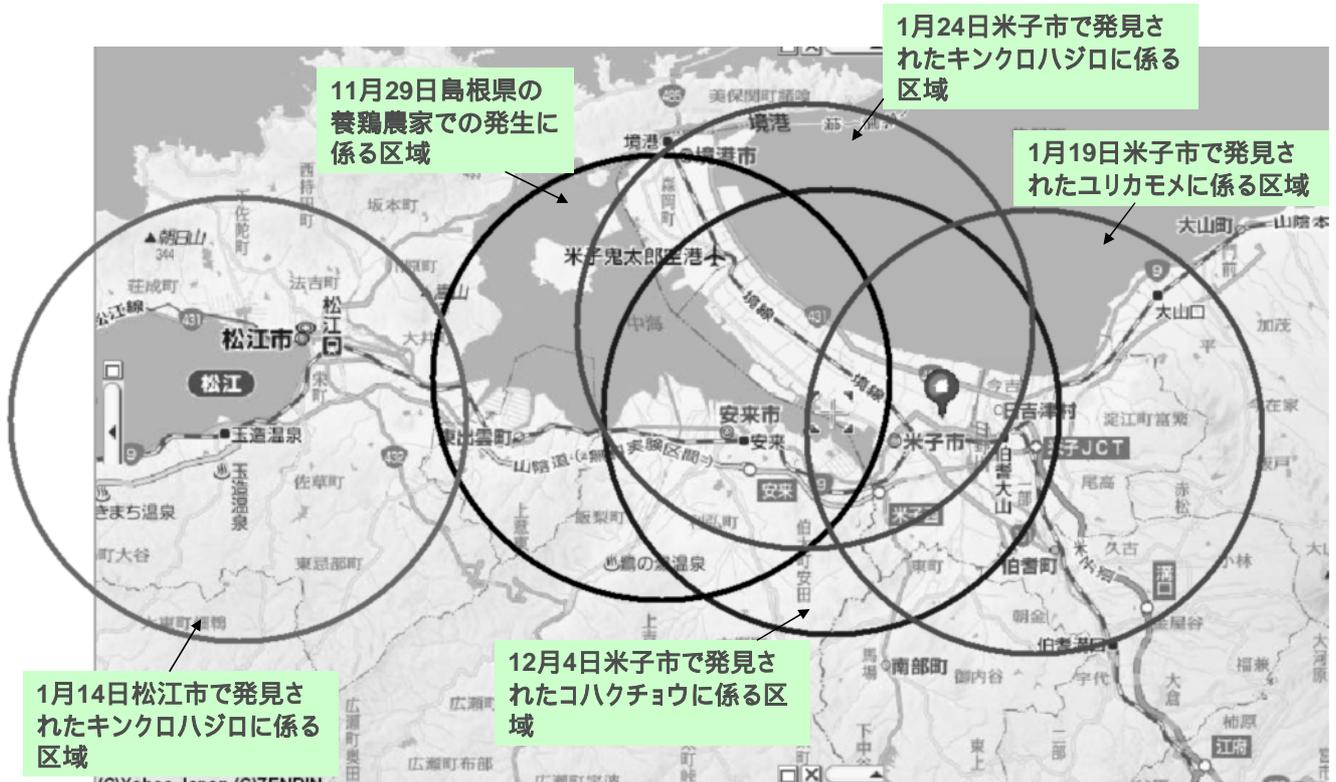


表 I-1 警戒レベルに応じた野鳥サーベイランスの実施概要

警戒区分	鳥類生息状況等調査	ウイルス保有状況調査			
		死亡野鳥等調査		糞便採取調査	野鳥捕獲調査
		感染リスクの高い種 (表 I-4 参照)	その他の種		
通常時 (レベル1)	日常的監視	同一場所で3羽以上死亡している場合 (タカ目は1羽から) に検査	同一場所で10羽以上死亡している場合に検査	10月~翌年5月までの間、環境省が予め決めた地点で糞便を採取し、検査	
警戒時 (レベル2)	監視強化	死亡1羽から検査	(レベル1と同じ)	(レベル1と同じ)	
国内発生時 (レベル3)	発生地周辺 (発生地から半径10km以内、但し、状況に応じ最大半径30kmまで拡大)	野生鳥獣の異常の監視 死亡1羽から検査	3個体以上死亡している場合 (哺乳類含む) に検査	糞便採取調査を追加 (1ヶ所100個)	野鳥捕獲調査を実施 (1ヶ所100羽)
	それ以外の地域	監視強化	死亡1羽から検査	(レベル1と同じ)	(レベル1と同じ)

※レベル2以降の警戒区分においては、カラス類等の生息数の多い種について、検体数が急激に増えることが予想されるため、都道府県の検査体制を踏まえ実施すること。

## 県内での野鳥監視の状況

	通報 件数 (件)	収容羽数(羽)					検 査 対象外		
		うち簡易検査			遺伝子検査				
		未実施	陽性	陰性	確定検査				
東部	141	3	未実施	-	-	3			
中部	72	3	未実施	-	-	3			
西部	410	232	陽性	0	鳥取大学	陰性	119	69	
			陰性	163	国環研	陽性	1		1
						陰性	8		-
						陽性	2		
						未判定	4		
623	238		163		134	75			

- 注1 通報時の聞き取りや現地での状況から、衰弱原因が明らかなものや外傷性のものは検査対象外として収容していないもの。(通報件数と収容羽数の相違)
- 注2 確定検査基準外の29羽について、住民等の要請により独自に簡易検査を行ったもの。(簡易検査数と確定検査数の相違)
- 注3 鳥取大学の陽性個体は、12月18日に米子市で発見されたコハクチョウ
- 注4 国環研の陽性個体は、この度のユリカモメ、キンクロハジロ

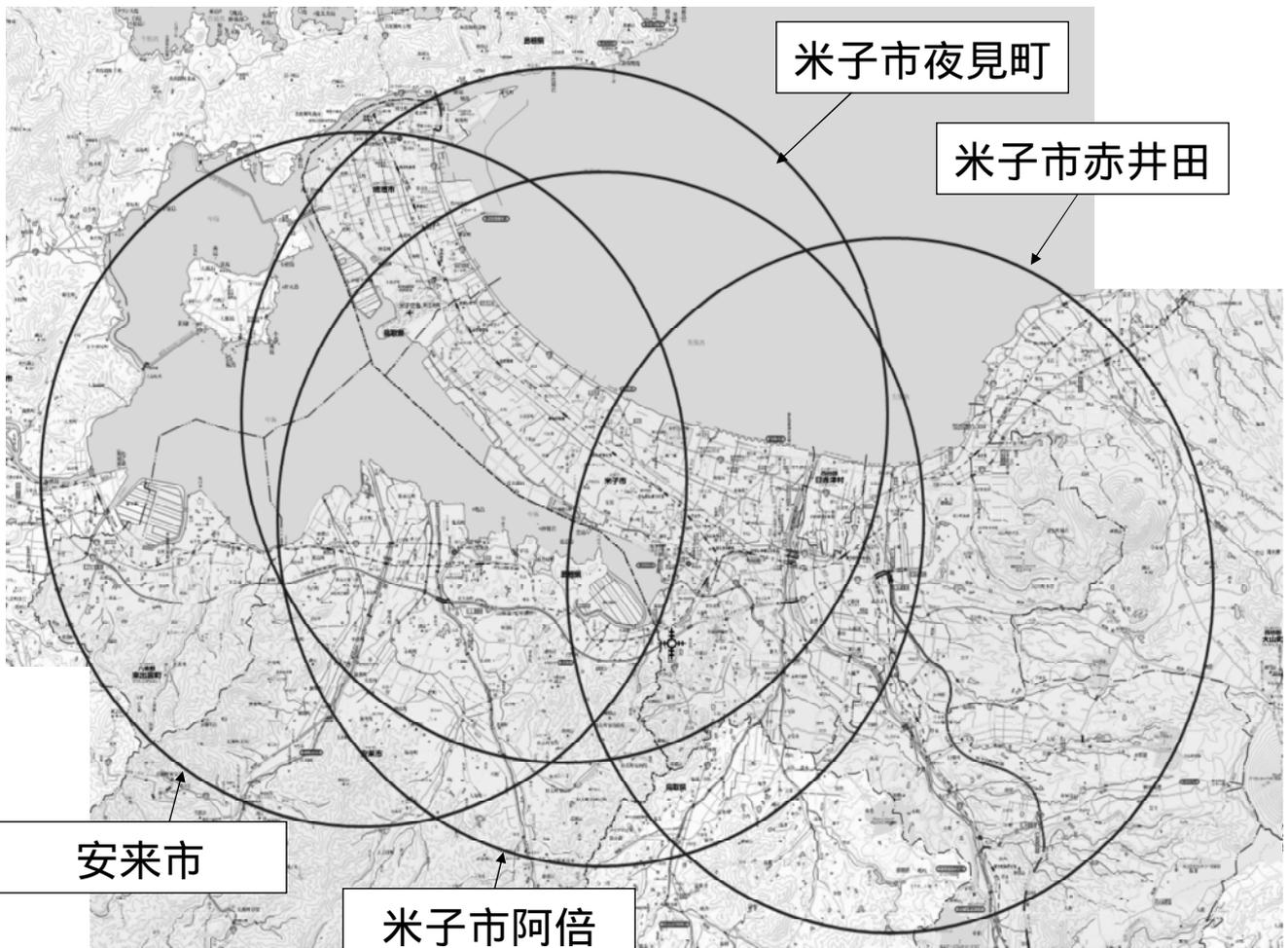
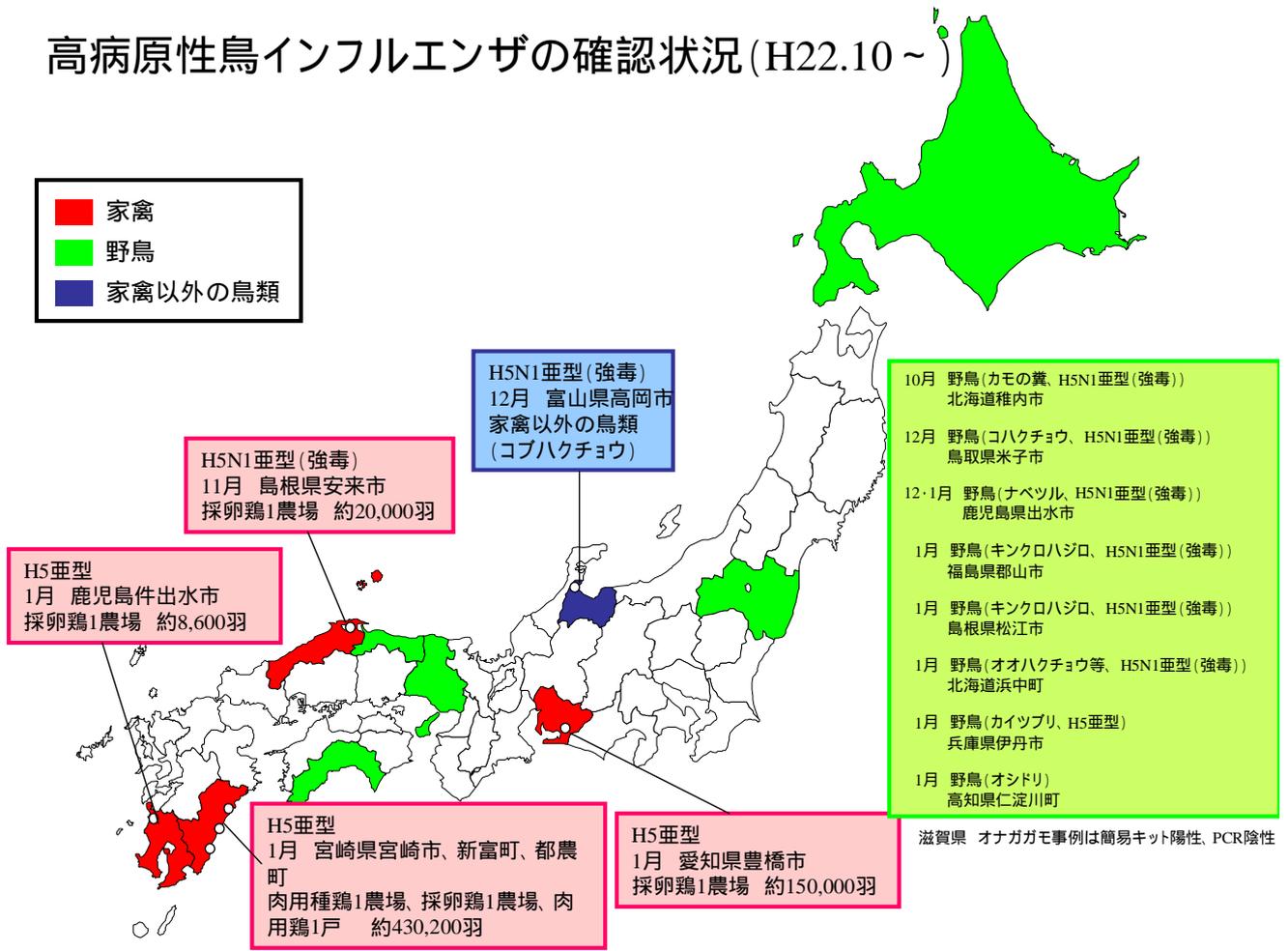
## 全国の野鳥等の発生状況

確定日	確認地	陽性確認種	警戒区域設定機関
H22.12.18	鳥取県米子市	コハクチョウ (野鳥) H5N1	環境省 野鳥監視
H22.12.19	富山県高岡市	コブハクチョウ (愛玩鳥) H5N1	県 家伝法に準じる
H22.12.22	鹿児島県出水市	ナベヅル (野鳥) H5N1	環境省 野鳥監視
H23.1.19	福島県郡山市	キンクロハジロ (野鳥) H5N1	環境省 野鳥監視
H23.1.22	北海道浜中町	オオハクチョウ (野鳥) H5N1	環境省 野鳥監視
H23.1.25	島根県松江市	キンクロハジロ (野鳥) H5N1	環境省 野鳥監視

1月27日に長野県小諸市で発見されたコガモは、簡易検査で陽性が確認されている。

# 高病原性鳥インフルエンザの確認状況 (H22.10 ~)

- 家禽
- 野鳥
- 家禽以外の鳥類



# 監視区域(予定)内の養鶏場への対応

	農場数	羽数	備考
採卵鶏	6	80,050	
肉用鶏 (ブロイラー)	11	843,600	
その他	1	500	中小家畜試験場
計	18	924,150	

H23.1.28 監視区域(予定)内の18農場への立入り検査による異常の有無の確認、  
飼養衛生管理の確認を、西部家畜保健衛生所が実施中  
区域内の市町村と連携し、小規模飼養者への注意喚起を実施予定

全県下の養鶏場について、防鳥ネット、踏み込み消毒槽などの飼養衛生管理の徹底について緊急的に確認中 (1月27日までに 31農場 / 85農場 確認済み)

## 今後の対応(案)

- (1) レベル3に対応した野鳥サーベイランスの実施
- (2) 県民へのお知らせ
- (3) 相談窓口の設置